

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	920.00	2020/7/27
High	963.80	2020/7/28
Low	883.89	2020/7/30
Close	909.50	2020/7/30

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3136.00	2020/7/27
High	3264.00	2020/7/28
Low	2985.00	2020/7/30
Close	3094.00	2020/7/30

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2217.00	2020/7/27
High	2343.00	2020/7/28
Low	2030.00	2020/7/30
Close	2093.00	2020/7/31

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7547.00	2020/7/27
High	7925.00	2020/7/28
Low	6842.00	2020/7/30
Close	7115.00	2020/7/31



ニュースエクスプレス

貴金属の中では鈍い動きのプラチナ、変化の時期来たるか

このところ激しい値動きが目立つ貴金属市場。ゴールドは過去最高値、シルバーは急上昇を続け、パラジウムとロジウムは強気市場。その中でプラチナの動きは他の貴金属に比べ鈍い。

プラチナは今年のリスク回避期間に過去18年間で最も低い562ドルまで下がり、その底値からは回復したが、依然として他の貴金属の上昇基調には追いついていない。

貴金属でもあり産業用メタルでもあるプラチナは、値上がりが続く貴金属の中で最も買い得な貴金属と言える。また産業用途としての有益性を見るとプラチナのそれは傑出しており、また分野も多岐にわたる。金融資産としては保有価値のある資産としての歴史がある。

一方、プラチナを生産しているのは南アフリカとロシア。ロシアではプラチナはニッケルの副産物となっているため、南アフリカが主要生産国となるが、プラチナの軟調で、プラチナ鉱山は減産。そのためプラチナの副産物として生産されているロジウムが今度は不足に陥り、価格の急騰を招いた。

貴金属グループの中の「眠れる巨人」とも言えるプラチナ。テクニカルな上値抵抗線の1035ドルを越えれば、プラチナは新たな領域に入るだろう。プラチナの過去最高値は2008年の2308.80ドルだが、今、その2.4倍以下の安値となっているプラチナは、非常に強気市場となっている貴金属マーケットで価値あるメタルと言えるだろう。

(ソース: <https://cn.investing.com/analysis/platinum-continues-to-lag-the-precious-metals-sector-200531965>)

貴金属 ETF、好調な 7 月

米中関係の悪化と新型コロナウイルス感染症の拡大懸念の中で、投資家にとって貴金属は非常に魅力的な資産となりつつある。ゴールドは急騰して過去最高値の2000ドルに近づくと一方で、シルバーは7年来の高値である25ドル近い。

一方、パラジウムとプラチナは車の浄化触媒装置に使われ、自動車産業の需要は大きい。自動車業界は新型コロナウイルス感染症の拡大の打撃を受けてはいるが、ロックダウンで供給ルートに支障が出たためにパラジウムとプラチナは値上がり。さらに中国と欧州で厳格化する排ガス規制でパラジウムの需要は大きい。

- iPath シリーズ B ブルームバーグ プラチナ サブ指数 トータルリターン ETN PGM - 17.6%上昇
- アバディーン・スタンダード・フィジカル・パラジウム ETF PALL - 17.2%上昇
- アバディーン・スタンダード・フィジカル・貴金属バスケット ETF GLTR - 16.9%上昇

(ソース: <https://finance.yahoo.com/news/precious-metal-etfs-shines-july-160504497.html>)

PGM 価格は短期的には堅調予測

白金族金属(PGMs)価格は、需給バランスで短期的に堅調。

新型コロナウイルス感染症拡大懸念にもかかわらず、アングロアメリカンプラチナム(Amplats)のドル建てバスケット実質価格は6月30日までの6ヶ月平均で前年比56%増、PGM 1 オンスにつき1956ドル。ランド建てバスケット価格は80%増で、PGM 1 オンスにつき32166ランド。純売上高は28%増の540億8000万ランド。

ヨハネスブルグ証券取引所上場のアムプラッツの金利・税金及び減価償却前利益は、予測より6%多い130億1000万ランド、暫定的中間現金配当の総額は28億ランドで、CEO Natascha Viljoen氏によると、今年はプラチナ、パラジウム、ロジウムは品薄が続くだろうということだ。

(ソース: <https://www.miningweekly.com/article/pgm-prices-expected-to-remain-robust-in-the-short-term-2020-07-27>)

オーストラリアの研究者グループ、太陽光からの水素製造で新たな最高効率を記録

オーストラリア国立大学(ANU)の研究者グループによると、太陽光を使って、より効率よく水から水素を作り出す新しい方法に成功したという。月曜日に当大学のウェブサイトに掲載された報告によると、従来の方法だと水を水素に変換する際の変換率は低いですが、この新たな手法によってより高い効率で水素の生成が可能となった。

「この方法は、屋根に取り付けられたソーラーパネルと同等、20%近い効率で水素を作ることができる。」

研究グループの中心メンバーのSiva Karuturi氏は今後の研究で20%を目指し、「安価でグリーンな水素を作り出すことに役立つだろう。」としている。

「今まで水素を作るには、ソーラー発電所でまず電気を作り、それを使って水を電解することで水素を生成していたが、この新しい方法はもっと直接的で効率が良い。」

(ソース: http://www.xinhuanet.com/english/2020-07/28/c_139246643.htm)

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPICがスポンサーするネット番組「Platinum Focus」第一回を公開されました。この番組はJBMAと協働し、プラチナ・パラジウムといった白金族金属の情報に特化した番組であり、月一回の頻度でお届けしております。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Y1t8jHSq8GQ&feature=youtu.be>

- 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、我々が5月18日付で発表した今年度のプラチナ余剰量、7.7トンがさらに増えるのではないかと危惧する投資家筋もあるようだが、プラチナ現物市場を見る限りその心配はないようだ。WPICのプラチナ展望7月号の第2編「投資需要の増大で、プラチナ不足は継続か」をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/854493/WPIC_Platinum_Perspectives_July_2020%20\(Platinum%20Market%20Shortage\).pdf](https://platinuminvestment.com/files/854493/WPIC_Platinum_Perspectives_July_2020%20(Platinum%20Market%20Shortage).pdf)